



「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス」認定事業所の 障害者雇用にかかる取組事例



事業所名：ビーアシスト株式会社 東千葉事業所

1. 障害者雇用までの経緯・きっかけ

母数増大による法定雇用率の未達成と他のグループ会社も対象となることが見込まれていたことなどが背景にあり、雇用と定着支援を専門的に実施できる特例子会社を設立することとなった。

2. 障害のある人が従事している主な業務

- ・全国の店舗から送られてくる小型のおもちゃの商品化を行い、返送している。
- ・同じ建物の店舗から、本、洋服の商品化と、店内に出す作業を行っている。
- ・建物の共有部分の清掃（階段、トイレ、外、窓など）

3. 障害のある人を受け入れる体制を整えるために行った取組や、周りの従業員への理解促進のために行っている取組

- ・事業所の取組みとしては、防災時使用の折りたたみヘルメットと階段を下ろせる車椅子、救護室を常設した。
- ・グループへの理解促進としては、社内見学会を年間1～2回行っている。
- ・同じ建物の社員やスタッフへは、朝礼と終礼への参加と、懇親会への参加を定期的に行っている。

4. 障害のある人の雇用継続のために行っている取組や、障害のある人の働く意欲を維持するために行っている取組

- ・定期面談を支援者と本人と共に、年1回行っている。
- ・社内研修、出張研修、事業所間交換留学、他社との交換留学など、働く意欲や社会人としての基本的なことを知ってもらうようにしている。
- ・作業に関しては、写真付きのマニュアルを作成し、業務改善のアイデア出しや、知具の開発も行う。
- ・体調管理は、健康管理表（体温、睡眠時間等を記入）を出勤時に付けている。

5. 障害のある人を雇用する上で連携した支援機関と、支援機関を活用して良かった点

連携した支援機関（ 特別支援学校市川大野高等学園 ）

活用して良かった点

特別支援学校の進路の先生や就労コーディネーターに、業務内容や会社の考え方を理解していただき、実習から採用までの流れがスムーズだった。